

授業科目 保健医療福祉連携学 II (福祉現場)

【担当教員名】 西川 薫	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期 b	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：G10】
福祉の現場において、疾病により生活上の権利が失われないためにどのような専門的な配慮がなされているか、また、疾病のため損なわれた自尊心の回復に福祉がどのような社会的・経済的支援がなされているかを学び、これらのことにより、地域社会のなかで、障害者が居心地よく暮らしを営める多様で実践的な工夫を知る。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 福祉の現場における対人援助職の多様さと職場チームの実際を体得する
2. 地域における生活の質の向上と福祉の充実のための取り組みと工夫を身につける
3. 自尊心や自信回復のための様々な専門的配慮の実践的で活用可能な言葉を会得する
4. それぞれの専門性を活かしあう連携のあり方を事例検討のグループワークを通じて把握する

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	【オリエンテーション】福祉現場における連携の紹介	1, 2, 3.	渡邊良弘 (作業療法学科)
2	【講義】ソーシャルワークからみる	1, 2, 3	(外部講師)
3	【グループワーク】提示事例の検討	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
4	【講義】メンタルデイケアからみる	1, 2, 3	(外部講師)
5	【グループワーク】提示事例の検討	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
6	【講義】介護保険サービスからみる	1, 2, 3, 4	
7	【グループワーク】提示事例の検討	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
8	【リフレクション】授業のまとめ・グループのふりかえり	1, 2, 3, 4	渡邊敏文 (SW) / 渡邊良弘 (OT)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	その都度提示			

【評価方法】 出席は2 / 3 以上を前提とする。 1. 授業への出席状況 40% 2. その他、グループワークへの積極的取り組みやレポート等が 60% 授業中は積極的に発言すること。	【履修上の留意点】 授業は講義とグループワークを交互に実施する。 グループワークは、福祉の現場における事例への適切な対応について、連携を中心にすえた話しあいにより時間内にグループ発表をおこなうものである。グループは受講者 160 名が 5 ~ 6 名程度ずつ 30 グループを形成し、3 回のグループワークにおいて各グループのメンバーは変更しない。グループワークの授業の際 PC を持参すること。
--	--